

当院を受診された患者さんとそのご家族および代理人の方へ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、連絡期間内に、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

受付番号	20210041
研究課題名	救命病棟におけるデスカンファレンスの内容分析
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 救命救急センター 看護師 川口祥子
連絡期間	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、2022年3月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
研究の目的と意義	デスカンファレンス記録より、クリティカルケア領域における終末期看護の問題点やデスカンファレンスの効果、今後の課題を明らかにする。
研究の方法	救命病棟での終末期看護は、看護師自身、困難さや葛藤、悲嘆を感じていることが少なくない。デスカンファレンスは患者家族のケアを振り返ることで、今後のケアの質を高めること、医療者自身のグリーフケアとしての効果が期待されている。デスカンファレンス記録より、終末期看護の問題点やカンファレンスの効果を検証し、考察する。
対象者	2019年6月24日～2022年3月31日の間のデスカンファレンス対象者
利用する試料/情報	①対象者の年齢、性別、病名 ②対象者の入院期間及び終末期医療に移行してから死亡までの日数 ③デスカンファレンスのテーマ ④対象者や家族の言動 ⑤デスカンファレンスの話し合いの内容
研究組織	「当院単独研究」 【研究代表施設】 済生会横浜市東部病院 看護部 川口祥子(研究代表者・責任者)
試料/情報の院外提供	「該当なし」
研究資金源	研究者の私費にて賄う
結果公表	第18回日本クリティカルケア看護学会学術集会にて発表予定
研究終了後の試料/情報の取り扱い	研究終了報告日から5年または最終の研究結果報告日から3年のいずれか遅い日まで保管し、匿名加工情報として廃棄します。
問い合わせ先	〒230-8765 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1 電話 045-576-3000 済生会横浜市東部病院 看護部 救命救急センター所属 川口祥子看護師